

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371401395
事業所名	グループホームゆう

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目: 2)	評価
	ホーム周辺の散歩や季節によってはベランダでの外気浴で地域の人と気軽に挨拶を交わしている。町内会加入で情報を得て、盆踊りや清掃等地域の行事に参加したり、招待を受けて小学校の運動会や公民館での敬老会に出かけている。ホームの行事の花火には近隣住民の参加もあり、子ども110番も受託している。中学校の職場体験や実習生、歌や踊り、マジック等ボランティアも多数訪問があり、交流を楽しんでいる。地域住民へ認知症や疾病への啓蒙活動をしたり、介護相談にも応じている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取り組み (外部評価項目: 3)	評価
	いきいき支援センターの職員の協力が年1回得られ、町内会長、老人会会長、家族、関連施設管理者、管理者等が参加し年に6回開催している。会議では施設や入居者の現況、活動内容、勉強会報告等を行い、10月からは関連3施設合同で開催し、各施設毎で避難訓練を実施した。施設の様子や実態を知ってもらうことができ、地域の方から応援体制について快諾を得ることができた。議事録を作成し、職員には回覧している。家族にも発送し、その内容の周知に努めている。	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目: 4)	評価
	名古屋市介護指導課に定期的に活動報告をしており、何かあれば相談しやすい関係がある。区へは、認定更新の際、介護支援専門員が可能な限り本人同伴で足を運んでおり、いきいき支援センターと情報交換や相談をしている。介護保険事業者会議にも参加している。いきいき支援センター主催の「認知症をもつ家族の会」向けの講座で認知症部門の講師を務めている。	○
重点項目④		評価
	職員は家族の面会時に状況を伝えながら、意見や要望を気軽に話せるような雰囲気づくりに努め、出された意見は記録に残している。検討結果はきちんと伝え、改善に努めている。目標達成計画にあげた毎月のホーム便りは行事予定の他、様子が分かる写真やコメントを載せ、暮らしぶりを知ることができるよう改善された。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	×	○	○			

1. 外部評価軽減要件

家族同志の交流や意見交換が図られ

- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認(記録、写真等)できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取り組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的(年2回以上)に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的(年2回以上)に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。